

## 日レセオンライン資格確認の環境構築

### ■準備

日レセのデータベースのエンコーディングはUTF-8を推奨します。  
オンライン資格確認端末がセットアップ済みである必要があります。

### ■日レセサーバ環境でのインストール（オンプレミスのみ）

#### 1. 日レセを停止します。

```
$ sudo systemctl stop jma-receipt
```

#### 2. データベースのバックアップ

```
$ sudo -u orca pg_dump -Fc orca > (バックアップファイル名)
```

#### 3. パッケージのインストール

```
$ sudo apt update
```

```
$ sudo apt upgrade
```

```
$ sudo apt install jma-receipt-pusher
```

#### 4. 日レセを起動します。

```
$ sudo systemctl stop jma-receipt
```

```
$ sudo systemctl start jma-receipt
```

#### 5. プログラム更新を実施します。

令和3年2月25日提供分が適用されていることを確認します。

#### 6. スキーマチェック

最新版をダウンロードしてスキーマチェックを実施します。

### ◆資格確認用ツール（onshi-tools）のインストールについて

通常は、1台のクライアントにインストールします。

この説明書では、以下にUbuntu環境とWindows環境の説明がありますが、両方にインストールする必要はありません。

### ■日レセクライアント環境（Ubuntu版）でのインストール

#### 1. パッケージのインストール

```
$ sudo apt update
```

```
$ sudo apt upgrade
```

```
$ sudo apt install onshi-tools
```

※onshi-toolsにより push-exchanger もインストールされます。

2. onshi-receiver の自動起動を確認します。

```
$ systemctl is-enabled onshi-receiver
```

disabled と表示された場合は以下により自動起動の設定をします。

```
$ sudo systemctl enable onshi-receiver
```

3. push-exchanger.yml を編集します。

push-exchanger.yml はクラウドサーバ用になっていますので、オンプレミスでは以下の変更を行います。

```
:ws_server: ws://(日レセサーバのアドレス):9400/ws
```

```
:api_user: ormaster
```

```
:api_key: ormaster (:api_user で指定したユーザーのパスワード)
```

```
:api_server: (日レセサーバのアドレス)
```

```
:api_port: 8000
```

```
:usr_ssl: false
```

4. push-exchanger を再起動します。

```
$ sudo service push-exchanger stop
```

```
$ sudo service push-exchanger start
```

5. オンライン資格確認端末の共有フォルダへのアクセス設定

パッケージのインストール

```
$ sudo apt install cifs-utils
```

マウントポイント作成 (任意)

```
$ sudo mkdir /mnt/onshi
```

```
$ sudo mkdir /mnt/onshi/req
```

```
$ sudo mkdir /mnt/onshi/res
```

```
$ sudo mkdir /mnt/onshi/face
```

```
$ sudo mkdir /mnt/onshi/pdf
```

```
$ sudo mkdir /mnt/onshi/bak
```

```
$ sudo chown orca.orca /mnt/onshi/*
```

/etc/fstab を編集します。

共用フォルダ名、ip アドレス、パスワードはセットアップ環境に合わせて設定します。

オンライン資格確認端末の ip アドレスを 172.31.10.1 とします。

```
//172.31.10.1/req /mnt/onshi/req cifs
```

```
iocharset=utf8,user=0qsComApp,password=(xxxxxx),uid=orca,gid=orca 0 0
```

```
//172.31.10.1/res /mnt/onshi/res cifs
```

```
iocharset=utf8,user=0qsComApp,password=(xxxxxx),uid=orca,gid=orca 0 0
```

```
//172.31.10.1/face /mnt/onshi/face cifs
```

```
iocharset=utf8,user=0qsComApp,password=(xxxxxx),uid=orca,gid=orca 0 0
```

fstab の反映

```
$ sudo mount -a
```

確認

```
$ df
```

```
$ ls /mnt/onshi/res
```

6. /etc/onshi-shell/onshi-shell.yml を編集します。

```
:api_user: ormaster
```

```
:api_key: ormaster (:api_user で指定したユーザーのパスワード)
```

```
:api_server: (日レセサーバのアドレス)
```

5 で作成した共用フォルダのポイントではない場合は以下も変更します。

```
:req_dir: (要求フォルダのポイント)
```

```
:res_dir: (結果フォルダのポイント)
```

```
:xml_log_dir: (バックアップのポイント)
```

```
:req_password: 暗号化は未対応です。
```

7. /etc/onshi-receiver/onshi-receiver.yml を編集します。

```
:api_user: ormaster
```

```
:api_key: ormaster (:api_user で指定したユーザーのパスワード)
```

:api\_server: (日レセサーバのアドレス)

5 で作成した共用フォルダのポイントではない場合は以下も変更します。

:face\_dir: (顔認証の結果フォルダのポイント)

:res\_dir: (結果フォルダのポイント)

:pdf\_dir: (PDF による結果ファイルを保存するポイント)

:xml\_log\_dir: (バックアップのポイント)

:req\_password: 暗号化は未対応です。

8. onshi-receiver を起動します。

```
$ sudo systemctl stop onshi-receiver
```

```
$ sudo systemctl start onshi-receiver
```

確認

```
$ sudo systemctl status onshi-receiver
```

## ■日レセクライアント環境 (Windows 版) でのインストール

1. オンライン資格確認端末のセットアップにて追加設定を行います。

フォルダの共有設定で、ローカルディスク (C:) にある OQS フォルダの中の3つのフォルダについて共有設定をしますが、OQS フォルダについても共有設定をします。共有名は、OQS として以下説明をします。

2. push-exchanger のインストール及び設定

以下のリンクからインストーラをダウンロードし実行する。

<https://ftp.orca.med.or.jp/pub/data/receipt/download/windows/ginbee/push-exchanger-installer-0.0.25.2.exe>

c:\¥program files (x86)\¥push-exchanger¥config.yml を編集します。

オンプレミスの場合

:ws\_server: ws://(日レセサーバのアドレス):9400/ws

:api\_user: ormaster

:api\_key: ormaster (:api\_user で指定したユーザーのパスワード)

```
:api_server: (日レセサーバのアドレス)
:use_ssl: false
```

### 3. onshi-tools のインストール及び設定

以下のリンクからインストーラをダウンロードし実行する。

<https://ftp.orca.med.or.jp/pub/etc/onshi/onshi-tools-installer-0.0.6.exe>

#### ・ onshi-receiver の設定

```
c:\¥program files (x86)\¥onshi\¥onshi-receiver\¥onshi-receiver.yml
```

```
:api_user: ormaster
:api_key: ormaster (:api_user で指定したユーザーのパスワード)
:api_server: (日レセサーバのアドレス)
```

```
:share_drive: "0:" (オンライン資格確認端末の共有フォルダドライブ名)
:share_name: "//xxx.xxx.xxx.xxx/OQS" (オンライン資格確認端末の ip アドレスと共有フォルダ名)
:share_user: "OqsComApp" (オンライン資格確認端末の共有フォルダのユーザー名)
:share_password: "xxxxxxx" (オンライン資格確認端末の共有フォルダのユーザーパスワード)
:face_dir: "0:/face"
:res_dir: "0:/res"
```

#### ・ onshi-shell の設定

```
c:\¥program files (x86)\¥onshi\¥onshi-shell\¥onshi-shell.yml
```

```
:api_user: ormaster
:api_key: ormaster (:api_user で指定したユーザーのパスワード)
:api_server: (日レセサーバのアドレス)
```

```
:share_drive: "S:" (オンライン資格確認端末の共有フォルダドライブ名)
                (onshi-receiver.yml の share_drive とは別のドライブ名にします。)
:share_name: "//xxx.xxx.xxx.xxx/OQS" (オンライン資格確認端末の ip ア
```

ドレスと共有フォルダ名)  
:share\_user: "OqsComApp" (オンライン資格確認端末の共有フォルダのユーザー名)  
:share\_password: "xxxxxxx" (オンライン資格確認端末の共有フォルダのユーザーパスワード)  
:req\_dir: "S:/req"

4. タスクバーの検索に“サービス”と入力してサービスを起動します。  
名前が“OnshiReceiver”を探して選択します。  
サービスの開始をクリックします。
5. スタートから push-exchanger を起動します。

以上で日レセオンライン資格確認の環境構築は終了です。